

## 8万円×12ヶ月＋家賃1年分の収入は？

生活保護は足し算の制度です。あなたの年収は幾らですか？

螺旋階段を下るのをやめるために、生活保護の制度があります

当たり前前のことですが、生活の安定が基本です

「夜間学校ニュース」を作成・配布している松繁は、

四月の中旬から、新今宮駅南にある10階建てマンション

の1階で「仕事」をしています。

「仕事」というのは、古い資料の整理なのですが、

ここ数日は、大阪社会医療センター社会医学研究会

の調査報告書をながめています。今から37年前のも

のです。

「愛隣地区における栄養摂取の概略について」

(1973年1月)は、西成労働福祉センター、あいりん労働

働公共職業安定所、大阪社会医療センターの三ヶ所

に、栄養調査と血液検査の案内を掲示して、協力を

申し出た41人の調査結果報告書です。ちなみに、年齢

構成は、26歳から50歳までの者が80%を占めていた

といえますから、今より、年令的に若い人が多かった

ようです。

当時の日本人のカロリーの所要量は2500カロ

リーでしたが、それに達していた人は、10%未満、

60%の人は1800カロリー以下という結果だった

ということです。

貧血に関する検査では、低全血比重者の存在割合が、

が全国調査の2倍の高さだったと報告されています。

たんぱく質、脂肪、ビタミン類の摂取量も低かった

ようです。

2005(平成17)年の高齢者特別清掃従事者の一斉検

診の結果をまとめた報告書も、手元にあります。そ

れには、「野宿群では・・・食事内容が貧困で低栄養状

態の率が高い」と書かれています。

30年たっても、低栄養状態は変わらなかった、とい

うことになりました。

ただ、違いは、高齢者が多くなったせい、か、「重度高

血圧の率が高い」というところにあるようです。

30年の間には、景気のいいときも悪いときもありま

したが、釜ヶ崎に低栄養状態の人が存在し続けて来た

ということ、疑いようのないことです。

「26歳から50歳までの者が80%を占めていた」時

代なら、「今に見とれ」と歯の食いしぼりようもあった

でしょうが、80%近くが55歳以上で、食いしぼる歯も

ろくろくくない人が多くなっている現在では、「今に見とれ」と踏ん張りようもない。

「なにゆうてんねん。今に見とれと目指せる未来がなくても、食いしばる歯がなくても、お上の世話にはなるマジ、田舎の親兄弟に恥はかせマジ、その一念で踏ん張ることはできるんじゃない」という人もいるかもしれません。

「行くところまで行く、どうせいつかはどこかで死ぬ身じゃないか（ア、コリヤ、コリヤ、サノ ヨイヨイ―合の手を入れてる場合ではない。まじめに考えなければ、と、反省）人生、左前になれば、坂道を転がり落ちるように、あるいは螺旋階段を下るように、悪いほうにしか向いていかないようになっていきます。

特に、今の社会はそうです。社会全体の富が増えても、その分配に与れる機会が得られる人は、限られている。「じんわり待って出直そう、ここは天国 釜ヶ崎」の歌の文句は、昔語りです。

30数年前と今の違いは、生活保護の活用が容易になっていくことです。「生活保護は恥」の感覚も、昔語りにする必要があります。 「下降」をまず、止めましょう。

「どうせいつかはどこかで死ぬ身」は、当たり前、どこでどう死ぬか、死ぬまでどうすごすかが、大問題、なのでは

生活保護は、無差別平等、困窮の事実に基づいて、誰でも（永住権を持つ外国人を含む）活用することが出来ます。65歳以上でなければ、あるいは病気でなければ受けられない、というのはウソです。

大阪市立更生相談所（市更相）は、阪堺線の東側、公衆便所横のガードを東に抜けて、交差点を渡ったところにある建物です。

医療センター（大阪社会医療センター）は、「ある時払いの催促無し」、借用書で受診できる医療機関です。市更相あるいは西成労働福祉センターで診療依頼券をもらってから行く必要があります。

医療センターは、センターの建物外の東側に入り口があります。

「自助努力援助のための手引き書―生活保護は怖くない」（無料）をまだ受け取っていない人は、声を掛けてください。手引き書を読んだ後は、役所で保護申請、不動産屋へ。

※ 居所（アパート・マンション）を確保できていない人については、生活保護申請後の手続きの期間（通常2週間）、生活保護施設で待機することになりました。生活保護申請後に、一時宿泊提供を受け、各施設職員の助言を参考に、住居を探してください。アパート・マンションの探し方については、各施設の職員が手伝ってくれることになりました。

20歳から50歳代前半くらいまでの人は、自立支援センターを活用する道もあります。寝場所・食事を提供し、就職活動を支援する施設です。利用期間は、3ヶ月、事情により6ヶ月です。入所希望者は、大阪市立更生相談所（市更相）で相談を。